



姉水会

発行所
 滋賀県長浜市宮部町 2410
 滋賀県立虎姫高等学校内
姉水会
 〒 529-0112
 TEL 虎姫 0749-73-3055(代)
 印刷 株式会社サラト

創立100周年記念式典は 2021年に延期します

姉水会会長 大塚 敬一郎



本来は2020年11月7日におこなう予定でしたが、新型コロナウイルスによる延期が決定し、2021年11月7日(日)に100周年記念式典として開催させていただきます。今年度の新型コロナウイルスは、100年に一度の疫病の流行といわれています。21世紀になり20年経ちましたが、今までの世界の常識が非常識になるくらい大きな変革が、色々な意味で世界中に起こっているように思えます。

ステイホーム、三密の回避、自粛等々、できるだけ人との接触を避ける生活が3ヶ月以上続きました。緊急事態宣言が解除されても、ワクチンの開発が進み、安定して供給されない限り、元の生活には戻らないのではないかと考えられます。

そんな中私どもは、母校が国際バカロレア(以下IB)認定校になったのを機に生徒たちを応援すべく、虎姫高校100周年記念事業として「物から事へ」、「ハードからソフトへ」という趣旨で「公益財団法人姉水会奨学財団」を設立いたしました。

IBはスイスのジュネーブで設立された非営利団体で、当初は国際機関や外交官の子弟が母国での大学進学のため設けられた制度でした。現在ではオックスフォード大学をはじめ世界158ヶ国約5,000の大学への入学資格・成績証明書として認められています。日本では、政府の日本再興戦略の中でIB認定校200校を目標にしていますが、現在認定されているのはまだ72校です。

日本の教育現場においては、私たちが親世代が経験してきた受験・進学環境も、国際基準へと大きく変わろうとしています。偏差値一辺倒のものさしから、世界で通用するIBのような教育が必要となってくるのです。

そこで姉水会奨学財団では、設立基金として初年度5,000万円を目標とし、翌年からは毎年寄付金をいただけるようにしてまいります。そして生徒たちに一人20万円以内、毎年総額500万円を上限に、返済不要の奨学金を給付します。なおこの寄付金は税控除を受ける対象になります。

これからの日本を背負い、世界へと羽ばたく私ども虎高の後輩のため、寄付金のご協力をよろしくお願いいたします。

2021年11月7日には皆様にお会いできることを楽しみにしております。是非ご参加ください。お待ちしております。

令和2年度「姉水会」総会のご案内

※新型コロナウイルスの状況によって日程変更・中止の場合があります。その場合は10月末までに虎姫高校HPでご案内させていただきます。

今年は虎高百周年

期日 令和2年11月7日(土)
日程 (姉水会理事会) 14:30~15:00
 (百周年実行委員会) 15:10~15:50
総会 16:00~17:00
懇親会 17:00~
場所 ホテル&リゾート長浜(旧:長浜ロイヤルホテル)
 長浜市大島町38 TEL 0749-64-2000

懇親会 場所: 総会会場(ホテル&リゾート長浜)
 会費: 8,000円
 ※ご参加いただける方は、10月23日(金)までに下記の姉水会事務局へご連絡ください。総会あるいは懇親会のみでの参加でも結構です。
姉水会事務局
 TEL 0749-73-3055 (虎姫高校) FAX 0749-73-2967 (虎姫高校)
 メールアドレス torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp
 ※FAX・メールの場合は確認用連絡先を明記してください。

令和2年度 姉水会役員 (敬称略)

Table of school board members (役員) including roles like 会長, 副会長, 顧問, 監事, and 理事, with names and graduation years.

姉水会 校内役員

Table of school staff members (校内役員) including roles like 教頭, 事務長, 総務, 会計, 会員名簿, 会報, and 姉水会館, with names and graduation years.



ご挨拶
校長 梅本剛雄

姉水会員の皆様には、平素より本校教育の発展のために、多大なご支援やご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校は三月より臨時休業となりました。その中で第七十二回生の卒業式は、三年生と保護者のみ参加という縮小した形での実施となりましたが、卒業生は堂々と本校を旅立っていました。また、新学期には第七十五回生の生徒二百名が本校に新しく仲間入りしてくれました。五月に入りますと、クラスを午前・午後に分けて登校させるという「分散登校」による半日登校を実施し、六月には緊急事態宣言解除に伴い、時差登校（登校時間を通勤時間より遅らせる）による学校再開を経て、六月二十九日からは感染予防に最大限配慮しながら、通常登校を実施したところでありました。こうした状況の中で、生徒には大変不便な思いをさせていますが、同時に気づかされたこと

があります。それは生徒の成長であります。確かに登校できないことは非常に不安でつらいものであります。しかし、本校の生徒や教員は「できないことを嘆く」よりも、前向きに「今できること」、いや「今こそできること」を模索して挑戦してくれています。改めて彼らの教育に対する熱意や誠実な態度には感服しているところであります。
例えば生徒の家庭学習の取り組みです。自由な時間が多いことは良い面もありますが、逆に自分の意志の強さが問われるという厳しい面もあります。その中で、生徒たちは各教科からの課題等に真摯に取り組んでくれています。また、課題の中には自分の生き方や世の中の状況について考えるものもありましたが、非常に深みのある、驚くようなレポートを多く見ることができました。自分と向き合うこと、深く考察してくれたものと捉えています。現在は例年通りの開催ができない学園祭について、「密な状況」を避けるという限られた状況でも、虎姫高校生としての誇りや絆を感じるができる企画を生徒に考えてもらい、実施したところであります。
また、生徒を支える教員の姿勢にも頭が下がる思いです。生徒が学校に登校できない期間には、HPを活用して積極的に情報提供や動画配信するとともに、電話等で担任が生徒に

連絡を取り、生活状況の把握に努めました。また分散登校の際には、限られた時間を有効に使い、健康状況の確認とともに課題解説等を行いました。さらにオンラインによる双方向での指導を行うため、生徒対象に説明会を実施し、具体的に対応しているところであります。
今後は、部活動や学園祭等で自分たちの力が発揮できる場がなくなった三年生に対して、これまでの努力を単なる「過去」のものとして捉えるのではなく、「未来」に生かされる経験と位置付けて前向きに歩めるよう、寄り添い、支援していきたいと考えているところであります。
次に、この機会をお借りして本校の特徴的な取り組みをご紹介します。まずは本年度より開設しました「国際バカロレアワールドスクール」の取り組みです。開設するまでは、いったい何人の希望があるかと不安もありましたが、最終的に四十一名の生徒が希望してくれました。今後は二年後（三年生十一月実施）の資格試験に向けて、充実した教育に努めていきます。姉水会の皆様方におかれましては、この度創立百周年記念事業の一環といたしまして「公益財団法人姉水会奨学財団」を立ち上げていただき、国際バカロレア奨学金をはじめ、本校生徒の学業充実に向けご支援いただくとともに、姉水会の場をお借りしてお礼申し上げます。

また、文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール事業（SSH）では、今年度第二期の四年目（通算九年目）を迎えています。残念ながら、現在のところ高大連携等の校外活動は自粛せざるを得ない状況であります。国際バカロレアの取り組みとともに、より一層教育内容を充実して、本校生徒としての誇りを持ち、世界に貢献できる人材育成に向けて尽力していきたいと考えています。引き続きご支援賜りますようお願いいたします。
なお、今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、百周年記念式典は一年延期することとなりました。非常につらい決断となりましたが、全世界がこの状況を乗り越え、皆様方と盛大に百周年記念を祝えることを期待しております。これまで、ご尽力いただいた方々や既にご寄付をいただいている方々には改めて感謝いたしますとともにご理解賜りますようお願いいたします。本校といたしましては、教員および生徒に皆様方の母校への思いをしっかりと伝え、今後も本校の発展のために、全力を尽くしていく所存であります。
最後になりますが、新型コロナウイルス感染症対策にご尽力いただいている多くの方々にご場をお借りして感謝申し上げますとともに、姉水会の会員の皆様方のご健勝をお祈りして挨拶とします。

姉水会会員の皆様へ

令和2年(2020年)5月

虎姫高等学校創立百周年
記念事業実行委員会

創立百周年記念式典等の変更について（お知らせ）

平素は姉水会の活動および母校の教育活動の推進にご理解・ご協力賜り誠にありがとうございます。

さて、虎姫高校創立百周年記念事業につきまして、本年11月7日（土）午後に記念式典および祝賀会の日程で企画・準備を進めてきたところですが、しかしながら、昨今の新型コロナウイルスに関わる緊急事態宣言等の社会情勢を鑑み、関係者で協議しましたところ、今後状況が改善したといたしましても本年11月の記念式典・祝賀会は「実施が困難である」との認識で一致いたしました。そのため、記念式典・祝賀会等を1年延期として、令和3年（2021年）11月7日（日）に開催することとし、併せて創立百周年記念事業は以下のように変更させていただくこととなりました。意をお汲み取りいただき、ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしく願いたします。

最後になりましたが、このような社会情勢でございます。皆様にはご自愛いただきますようお願い申し上げます。

記

○記念式典・祝賀会について

令和2年11月7日（土）午後 → **令和3年11月7日（日）午後**

- ・記念式典の会場は虎姫高校体育館、祝賀会はホテル&リゾート長浜の予定です。
- ・姉水会会員の皆様には、令和2年7月発行予定の会報「姉水」にて、改めて延期のご案内をさせていただきます。
- また、記念式典・祝賀会の詳細や参加などのご案内は、令和3年7月発行予定の会報「姉水」に掲載する予定です。

○百周年記念事業募金 募金開始時期・方法等には変更ありません。

- ・姉水会会員の皆様には募金趣意書と募金要綱および「百周年事業実行委員会」口座への振込用紙を4月24日に発送いたしました。この口座への募金期間は令和3年3月31日終了としておりましたが、**令和4年3月31日終了に変更**させていただきます。
- ・姉水会奨学財団については、今年6月に滋賀県知事より公益財団法人として認可される予定です。その後、税務署への申請・承認および口座開設の手続きとなりますことから、税額控除対象となる「公益財団法人姉水会奨学財団」口座への振込用紙は、今年7月発行予定の会報「姉水」に同封し、姉水会会員の皆様へ郵送させていただく予定です。
- ・姉水会会員の皆様には、4月発送の振込用紙が7月発送予定の振込用紙のどちらかをご検討いただくよう会報「姉水」においてもご案内させていただきます（両方にご協力いただける場合は謹んでお受けいたします）。
- ・令和2年度の会報「姉水」の発送は、上記手続き完了後となるため、8月にずれ込む場合があります。

○姉水会館建て替えに関わる事業

- ・「虎姫高校セミナーハウス」建設に向けての取り組みが進められております。
- ・平成28年度姉水会総会にて決議いただいた『姉水会の経費負担と責任のもとに姉水会館の撤去・解体を行う』に基づき、現「姉水会館」の撤去・解体は新「セミナーハウス」完成後に実施する予定です。

○虎姫高校創立百周年記念誌の刊行

令和2年11月刊行 → **令和3年11月刊行予定**

百周年記念事業募金

4月に発送させていただいた「百周年事業実行委員会」口座への募金案内につきまして、令和2年7月10日現在で、**4,971,866円**のご協力をいただいております。（端数は学年別同窓会の残金をご寄付いただきました）

多くの方にご協力いただきありがとうございます。

引き続き、今回同封の「姉水会奨学財団」口座への募金とあわせてご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

虎姫高校 創立百周年記念式典

日時：令和3年(2021年)11月7日(日)午後

【新型コロナウイルスに関わる情勢から2021年に延期します】

場所：滋賀県立虎姫高等学校 体育館

内容(予定) 百周年記念式典と記念行事および祝賀会

※詳しくは2021年7月発行予定の会報「姉水」にてご案内いたします。

滋賀県立虎姫高等学校

創立百周年記念事業募金趣意書

謹啓 姉水会会員(同窓)の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は姉水会並びに母校の教育振興・発展のために、格別のご支援・ご協力をたまわり厚く御礼申し上げます。

さて、母校である滋賀県立虎姫高等学校は、令和2年(2020年)に創立百周年を迎えることとなりました。母校は、地元関係者の方々の並々ならぬご努力により、大正9年(1920年)旧制滋賀県立虎姫中学校として開校されました。終戦間もない昭和23年、学制改革により滋賀県立虎姫高等学校として再出発しましたが、昭和24年改編により滋賀県立湖北高等学校虎姫校舎となり、さらに昭和26年再編により滋賀県立虎姫高等学校として再々出発することとなり今日に至っております。

この間、湖北地域を中心に多くの俊英が集う進学校としてその伝統を受け継ぎ発展させてきました。その歴史の根底には、一貫して変わらぬ『質実剛健』の校風が流れ、現在でも母校のあらゆる教育活動に脈々と受け継がれています。さらに校歌にあります『独立自尊』『方円自在』の考え方は、母校教育の大切な柱となっております。今までもこれからも、自主・自立の精神と柔軟な思考力及び心を持った人材育成のための指針となっております。

近年では、平成24年に文部科学省から『SSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校に認定され、2期目として今日に至っています。また、平成31年3月には、西日本の公立校として初めて『国際バカロレア』認定校に指定され、今年4月に『国際バカロレア』1期生(以下IB生)が入学しました。母校は今後も、湖北地域における伝統ある進学校として、これからの時代を担う国際的視野を持った有為な人材の育成に努めていくものと確信しております。さてこの度、創立百周年を迎えるにあたり、同窓会である『姉水会』を中心としてPTA・教

育振興会および学校が一丸となって記念事業を推進するため「創立百周年記念事業実行委員会」を組織させていただきました。

創立百周年記念事業では、2万名を超える同窓生の絆を深めると共に、滋賀県立虎姫高等学校の歴史を通じて、多くの有為な人材を社会に輩出してきた実績とその中に息づく伝統を受け継ぎ、次世代への継承を確固としたものとして存じます。

そのため、創立百周年記念事業として次の4点を企画し、その事業実施のための募金を実施することとさせていただきます。

- ①次世代を担う現在とこれからの虎姫高校生(1B生を含む)の海外留学や学びの深化(高等学校での修学や大学等への進学)のため、給付型奨学金事業を主たる目的とする「財団法人 姉水会奨学財団」を設立する。

○令和元年12月に滋賀県知事より「姉水会奨学財団」は一般財団法人の設立認可を受けました。また、令和2年6月に公益財団法人の指定認可をうけましたので、財団に対するご寄付は、所得税の『寄付金控除』又は『税額控除』の対象となります。

②同窓会館である「姉水会館(セミナーハウス)」の建て替えを当局に要請し、会館内設備等の充実などでその建設に協力する。

③令和3年11月7日(日)13時より、虎姫高校校体育館にて「創立百周年記念式典」を挙げる。

○式典に引き続き、17時より、ホテル&リゾート長浜(旧長浜ロイヤルホテル)にて、会費制による「虎姫高校創立百周年記念祝賀会」を開催させていただきます。令和3年7月発行予定の会報「姉水」をお待ちください。

④虎姫高校の校史をまとめた「虎姫高校創立百周年記念誌」を刊行する。

つきましては、別紙「募金要綱」にもとづき、募金を実施させていただきますので、よろしくお願いたします。実行委員一同は、滋賀県立虎姫高等学校創立百周年記念事業のため最善の努力を尽くす所存です。出費多端の折、誠に恐縮ではございますが、皆様にはこの趣旨をご理解いただき、創立百周年記念事業募金にご協力いただきますようお願い申し上げます。 謹白

令和2年6月吉日

滋賀県立虎姫高等学校創立百周年記念事業実行委員会

- 実行委員長 大塚敬一郎(姉水会会長)
実行副委員長 沢田 昌宏(姉水会副会長)
実行副委員長 前島 誠(教育振興会会長)
実行副委員長 中瀬 一輝(PTA会長)
実行副委員長 梅本 剛雄(虎姫高等学校校長)

2019年度姉水会決算報告(案)

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Includes sections for 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure) under 一般会計 (General Accounting).

次年度繰越金 2,287,354 (定期:1,405,077円、普通:882,277円)

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Includes sections for 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure) under 特別会計 (Special Accounting).

次年度繰越金 9,563,749 (定期:2,136,674円 普通:7,426,453円 622円)

運営協力金

1,295,691円

多くの会員の方からお振り込みいただき誠にありがとうございました。

令和元年度「運営協力金」は、昨年度の会報「姉水」発行経費に充てさせていただきました。今年度から「運営協力金」のお願いは「姉水会奨学財団」へのご寄付依頼に移行させていただきます。ご寄付につきまして、引き続き皆様方のご協力をよろしくお願いたします。

第29回生同窓会 還暦を迎えて

虎姫高校第29回生は還暦を迎えた2019年8月17日に、北ビワコホテルグライツエで30年ぶり2回目の同窓会を開催しました。村田洋先生、瀬辺勤先生、中村正勝先生をお迎えし、87名の同窓生が集いました。

日東第一だより



物故者への黙祷、吉永幹事長の乾杯、恩師の先生方からのお言葉、景品付き抽選会と続く中、再会を懐かしみながら、人生の新しいステージの話で大いに盛り上がりました。あつという間の2時間30分でした。参加者の健康と百周年を迎える虎姫高校の発展を願いながら、「日東第一」を全員で歌い、次期田中幹事長の7年後の3回目開催宣言とともに会を閉じました。29回生の皆さん、7年後に再会しましょう。

第32回卒業生同窓会

第32回卒業生の同窓会を、令和2年1月3日(金)長濱迎賓館Fu-ta-iにて開催しました。我が学年は、夏季オリンピックの開催年に合わせ4年毎に同窓会を実施しています。今回



は、光明祐寛先生、氏原道夫先生、村居多美子先生、河嶋四郎先生の恩師4名を含め、総勢70名が集まりました。

定刻の午後5時、まず恩師を囲いでの集合写真撮影からスタートしました。開会あいさつの後、光明先生から「祝辞をいただきますでしたが、40年前と変わらぬお話しぶりと

若々しいお姿に一同感服する次第でした。そして、乾杯の発声で宴が始まり、当時のクラスごとにテーブルでの会食となりましたが、次第に席を移動しながらあちらこちらで高校時代の思い出話や近況報告に話が盛り上がりました。話は尽きぬまま、あつという間に時間が過ぎていき、最後は参加者全員が大きな輪となって校歌を斉唱し、母校へのエールで盛会の幕を閉じました。その後の2次会には半数以上が参加し、カラオケでさらに盛り上がりまし



後日、残った会費を梅本剛雄校長先生(32回生)へ100周年記念事業の資金として手渡しました。今年には新型コロナウイルスの感染拡大により、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、様々なイベントが中止や延期となりました。今までに経験のない危機ではありますが、1日も早く安全安心な日々の生活を取り戻せることを、皆様とともに心より願っています。

46回生同窓会のご報告

2020年1月4日、北ビワコホテルグライツエにて、第46回生の学年同窓会を開催しました。46回生と言世代は、高校3年生を迎えたのが1993年。卒業アルバムを振り返ってみると、1993年は、

Jリーグ開幕、「若ノ花」が大関昇進し史上初の兄弟同時大関誕生などスポーツ界の華やかなニュースが目を惹く時代です。



さて、同窓会には40名程が参加。駆けつけてくださった梅本剛雄校長先生のご挨拶で開宴致しました。梅本先生が虎姫高校に初赴任して来られた年、私たちが入学。担任の先生、国語の先生、野球部の監督：様々な場面でお世話になった私たち。出席者は、梅本先生が目前の一段高い場所に立たれる姿を懐かしく感じたに違いありません。お話の中で「国際バカロレア」と言う新しい取り組みを聞かせて頂きました。進化していく母校の姿に想いを寄せながら、お酒を交えた席へと時間は進みました。

私たちは今年45歳を迎えます。仕事がおもしろくなり働き盛り、子育て真っ最中と、忙しくもあり充実している世代です。各自のステージでの近況報告や、情報交換には話題が尽きません。途中、バイオリン演奏や即席大売り出しと言ふユニークな余興も手伝って、あつという間に宴の時間は過ぎました。締めくくりは、記念撮影と校歌斉唱。

名残惜しい気持ちいっぱいその日を閉じました。実は今回、諸事情により声を掛けられない仲間がありました。次回は全員に声をかけてより盛大に開催する予定です。これからも「姉水会」の輪が広がりますように。

第70回生学年同窓会

この度は寄稿のお声掛けを頂き、ありがとうございました。(文責 塚田陵子)

令和2年1月13日、スタイリッシュコンフォートリイネア様(以下、リイネア)にて、第70回生の学年同窓会を開催致しました。約170名の同窓生に加え、6名の先生方にご出席いただきましたので、出席者多数の同窓会となり、大変盛況でした。

会は大賀先生への黙祷、篠宮先生の挨拶と乾杯が始まり、近況報告や大学での生活、将来の夢などについて話し、大いに盛り上がりました。成人式を迎えたことで未熟だった高校時代とは異なり、スーツやドレスなどの服装と、大人びた雰囲気を感じた姿を友人や先生方に見せることができ、喜ばしく感じました。また、苦楽を共にした仲間同士の会話は、青春時代の思い出を当時のまま蘇らせ、友人や先生方など、多くの人達の支えのおかげで今日の私たちがいることを再認識しました。

末筆ですが、第70回生の皆さん、先生方、またリイネアの皆様、担当の岸本様、多数のご出席と円滑な会場運営にご協力していただき、本当にありがとうございました。同窓生や先生方との再会という貴重な時間を過ごせたことを、幹事一同、感謝しております。

(文責 第70回生代表 田中凌)



■ 昨年の行事紹介 ■

『令和元年度SSH講演会』

「カワウが教えてくれること～鳥を通して自然と人とのかかわりを考える～」と題して10月16日(水)全校生徒を対象に、本校体育館でSSH講演会を実施しました。

講師は滋賀県立琵琶湖博物館学芸員の亀田佳代子先生で、滋賀県民にはなじみの深いカワウの話をしていただきました。自然との関わり方を見直す良い機会となりました。



『ようこそ先輩 講演会』

「なぜ地元の診療所で仕事をしているのか?～その生き方から、虎高生へのメッセージ」と題して11月13日(水)に1年生を対象に、本校体育館で「ようこそ先輩 講演会」を実施しました。講師は浅井東診療所所長の松井善典先生で、ご自身の体験をもとに、地元へ貢献する生き方も将来の選択肢として考えて欲しいと伝えていただきました。



『東大・東工大・慶応大連携講座』

12月12日(木)～13日(金)の1泊2日で実施しました。今年で9年目を迎えます。参加者は1年の希望者で22名が参加しました。東京姉水会の先輩方にお世話になり、各大学を見学したり、高校生に向けたわかりやすい講義をしていただいたり貴重な経験をさせていただきました。



『フィールドワーク』

1年授業「究理I」の取り組みとして、11月15日(金)にフィールドワークを実施しました。自分たちで身近な自然科学や社会科学についての課題を設定し、班ごとに校外の企業・大学等に訪問し取材・調査を行いました。3月にはお互いに発表会を実施しました。



『修学旅行』

2年生が11月17日(日)～11月20日(水)に台湾への修学旅行を実施しました。現地高校との交流、現地大学生との班別研修、また現地見学等により多様な価値観や文化に触れる中で大きく成長することが出来ました。



『サマーセミナー (高大連携講座)』

2年生が夏休み期間中に、大学の講義や実習を体験しました。より高度な学びにふれ刺激を受けることで、虎校での学びを充実させるとともに、自分の進路選択の参考にもなっています。参加した大学は次のとおりです。

滋賀大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学、大阪大学、慶応義塾大学、金沢大学



『3年進学補習』

希望者を対象に、6月、夏季、9月、11月、1月、2月に進学補習を実施しました。3年生の状況に合わせて、基本的な復習、センター試験対策、2次対策、個別指導等を行っています。

『3年夏季学習会』

希望者を対象に、7月20日、21日の2日間、学校で合計20時間の自習会を実施しました。黙々と勉強するお互いの姿に刺激を受け、さらに学習意欲を高めることが出来ました。



『3年センター試験直前演習』

希望者を対象に、12月25日、26日、学校で、センター試験当日と同じ時間に、同じ時間割で模試を受ける、本番さながらの直前演習を実施しました。多くの3年生が参加し、試験当日に慌てることのないように、センター試験に向けた最終チェックを行いました。

進路状況

● 現役合格延人数

種別	平成30年3月卒	平成31年3月卒	令和2年3月卒	
卒業者数	233	232	233	
大学	国公立大学	93	93	83
	私立大学	464	563	475
	計	557	656	558
短大	公立短大	0	2	1
	私立短大	0	0	2
専修学校等	12	14	12	
就職	公務員等	1	0	2

● 大学合格状況

【国公立大学】合格延人数 ()内は過年度卒

大学名	平成30.3卒	平成31.3卒	令和2.3卒
北海道大	2 (1)	1 (0)	0 (0)
筑波大	0 (0)	0 (0)	1 (1)
東京大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
横浜国立大	1 (0)	0 (0)	1 (1)
富山大	4 (0)	0 (0)	4 (0)
金沢大	13 (0)	6 (1)	4 (0)
福井大	6 (3)	4 (1)	3 (0)
信州大	3 (1)	1 (1)	1 (0)
岐阜大	3 (1)	1 (0)	3 (0)
静岡大	3 (1)	4 (0)	4 (0)
名古屋大	2 (1)	2 (0)	1 (0)
名古屋工大	0 (0)	2 (0)	2 (0)
三重大	1 (0)	1 (0)	1 (1)
滋賀大	9 (1)	8 (0)	14 (0)
滋賀医大	2 (0)	0 (0)	2 (0)
京都大	1 (0)	0 (0)	2 (1)

大学名	平成30.3卒	平成31.3卒	令和2.3卒
京都教育大	1 (0)	2 (0)	0 (0)
京都工芸繊維大	3 (0)	0 (0)	0 (0)
大阪大	1 (0)	0 (0)	2 (0)
奈良教育大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
奈良女子大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
神戸大	3 (1)	6 (0)	1 (0)
鳥取大	1 (0)	1 (0)	3 (1)
島根大	1 (0)	2 (0)	0 (0)
岡山大	3 (0)	3 (0)	0 (0)
広島大	3 (0)	3 (0)	3 (0)
山口大	0 (0)	2 (0)	0 (0)
徳島大	2 (1)	0 (0)	0 (0)
高知大	2 (0)	1 (0)	0 (0)
琉球大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
国立大学計	73 (12)	56 (5)	58 (5)

大学名	平成30.3卒	平成31.3卒	令和2.3卒
福井県立大	0 (0)	2 (0)	2 (0)
敦賀市立看護大	1 (0)	4 (0)	2 (0)
滋賀県立大	17 (0)	12 (0)	13 (0)
京都府立大	0 (0)	2 (1)	1 (1)
大阪府立大	0 (0)	3 (0)	1 (0)
兵庫県立大	3 (1)	3 (0)	1 (0)
公立大計	35 (3)	48 (6)	32 (2)
国公立大計	108 (15)	104 (11)	90 (7)

再掲 国公立医療系			
薬学科	3 (0)	0 (0)	0 (0)
獣医学系	1 (0)	0 (0)	0 (0)
看護系	7 (0)	9 (0)	10 (0)
医療技術系	1 (0)	2 (0)	0 (0)

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

【私立大学】合格延人数 ()内は過年度卒

大学名	平成30.3卒	平成31.3卒	令和2.3卒
法政大	0 (0)	1 (0)	1 (0)
明治大	0 (0)	3 (0)	2 (0)
早稲田大	1 (0)	5 (0)	2 (1)
南山大	0 (0)	0 (0)	6 (0)
名城大	3 (0)	2 (0)	2 (0)
京都産大	11 (0)	12 (1)	26 (4)

大学名	平成30.3卒	平成31.3卒	令和2.3卒
京都女子大	20 (1)	17 (0)	11 (0)
京都薬科大	2 (1)	2 (0)	0 (0)
同志社大	10 (5)	8 (0)	16 (2)
立命館大	73 (8)	67 (7)	66 (3)
龍谷大	94 (14)	80 (4)	74 (1)
関西大	8 (2)	7 (1)	16 (1)

大学名	平成30.3卒	平成31.3卒	令和2.3卒
近畿大	35 (6)	17 (5)	9 (0)
関西学院大	5 (1)	11 (0)	5 (0)
私立大計	524 (60)	592 (30)	490 (15)
私立大医学科	0 (0)	0 (0)	1 (1)

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

第72回生 (令和2年3月卒) 進学希望者数に対する合格率・進学率

	人数	合格率・進学率	
進学希望者数 A	231		
合格者数 B	219	合格率	B/A 95%
進学者数 C	217	進学率	C/A 94%
国公立大合格数 D	83	国公立大合格率	D/A 36%



今年度永年勤続表彰

母校に永年ご勤続いただき、後輩の教育にご尽力されている先生の労に対し、会長より感謝状と記念品が贈呈されます。

十年勤続・瀬戸川信江 先生
 ・西村久美子 先生
 ・山根孝子 先生
 ・田附久美子 先生

令和2年度 職員人事異動 (敬称略)

退職
 事務長 堤喜久美
 教諭 北川敦子

転出
 教頭 大道敏喜雄 (校長) 北大津養護学校
 教諭 森彩香 (英語) 国際情報高等学校
 教諭 鈴木泰子 (家庭) 彦根翔成館高等学校
 臨時講師 林崎徹 (英語) 草津東高等学校

転入
 事務長 川崎美佐子 教職員課
 教頭 田濃良和 (教頭) 長浜北星高等学校
 教諭 寛聡 (国語) 彦根翔成館高等学校
 教諭 松村大介 (国語) 安曇川高等学校
 教諭 澤井俊孝 (数学) 長浜北星高等学校
 教諭 鶴口篤寛 (英語) 新規採用
 教諭 福田裕子 (家庭) 伊香高等学校
 外国人講師 ソレンソン・サミュエル (I・B) ミシガン州立大学連合日本センター





三角点

(上位成績のみ)

■令和元年度 秋季大会結果

・剣道

女子団体 ベスト8

・水泳

男子 50 M バタフライ

坪井 公佑 4位 (近畿大会出場)

女子 50 M バタフライ

岡田彩由果 8位 (近畿大会出場)

女子 100 M 背泳ぎ

野本 幸花 3位

女子 50 M 背泳ぎ

橋本 来未 8位 (近畿大会出場)

・アーチエリー

女子団体 1位

(服部、森、千田、美濃部)

2593点

・卓球

男子団体 ベスト8

(近畿大会出場)

・ソフトテニス

女子 個人戦

山岡柚葉・櫻井美羽ペア

ベスト16 (近畿大会出場)

・陸上

男子 100 m 廣畑敬太 6位

男子 200 m 廣畑敬太 3位

男子 4 × 100 m R 6位

(野村、廣畑、北川、富永)

男子やり投げ 藤田恵人 6位

女子 4 × 100 m R B決勝 2位

(上出、赤尾、中村、細井)



・ESS

第12回全国高校生英語ディベート大会

滋賀大会

準優勝

ベストディベーター賞

桐畑悠翔 2位

(全国高校生英語ディベート大会出場)

・科学探究部

全国総文出場 近畿総文出場

・新聞部

第43回滋賀県高等学校

学校新聞コンテスト

優秀賞・教育長賞

全国総文出場

全国年間紙面審査賞 最優秀賞

■令和2年度 春季大会結果

(コロナ感染症のため中止)



同窓会だより『日東第一だより』の 原稿募集 について

多くの学年で、旧交を温めあうべく同窓会を開催されていることと思います。その様子を本紙の『日東第一だより』にてご紹介ください。ご紹介いただける場合は、姉水会事務局まで原稿（できれば写真1～2枚も）をお寄せください。よろしくお願いいたします。

※毎年5月上旬が原稿締切になっています。

※姉水会事務局

TEL 0749-73-3055 (虎姫高校)

FAX 0749-73-2967 (虎姫高校)

e-mail: torahime-h.shisui@pref-shiga.ed.jp



姉水会奨学財団への募金のお願い

※創立百周年記念事業の一環として設立いたしました『公益財団法人姉水会奨学財団』への募金を、同封の振込用紙にてよろしくお願いいたします。

■募金目標額 6,000万円 (うち5,000万円が奨学金事業原資となります)

■募金金額 一口5,000円 二口以上のご協力をお願いいたします

■『公益財団法人姉水会奨学財団』へのご寄付は、寄付控除等の対象となります

《個人による寄付の場合》

個人が公益財団法人等に対する寄付をした場合、その寄付金の全額または一部が、①寄付金控除 (所得控除) の適用を受けるか、②寄付金特別控除 (税額控除) の適用を受けるか、どちらか有利な方を選ぶことができ、所得税が減額されます。

《法人による寄付の場合》

法人による寄付の場合、特定公益増進法人に対する寄付に分類され、その他一般の寄付金とは別枠で損金の額に算入することができます。

※いずれの場合も、税務申告の際に公益財団法人発行の領収書が必要となります。

■上記、寄付控除等をご利用予定の場合は、同封の振込用紙「通信欄」の『領収書 要』に必ず「○」印をお願いします。振込確認後、「通信欄の訂正届欄」(空白の場合は「ご依頼人欄」)記載の住所氏名宛に領収書を郵送いたします。「○」印がない場合は、受領証をもって領収書に代えさせていただきます。

※皆様には虎姫高等学校創立百周年事業募金として、令和2年4月発送の「百周年事業実行委員会」口座への募金と、今回同封いたしました「公益財団法人姉水会奨学財団」口座への募金のどちらかをご検討ください (両方にご協力いただける場合は謹んでお受けいたします)。



『虎姫高等学校創立百周年記念事業』(姉水会奨学財団)に関するホームページ(HP)を開設しました。
<https://100th.torahime-shisuikai.org/>